

平成29年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金並びに  
鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

平成29年3月24日  
(一社)日本アルミニウム合金協会

平成28年度の日本経済は、年度前半には海外経済で弱さがみられたほか、国内経済についても、個人消費及び民間設備投資は、所得、収益の伸びと比べ力強さを欠いた状態となっているが、アベノミクスの取組の下、雇用・所得環境が改善し、景気は緩やかに回復していくことが見込まれている。

このような経済環境の中で、当アルミニウム合金業界においては、熊本地震等による生産停止の影響などにより年度前半は需要が低調であったが、後半は主力の自動車向け鋳物・ダイカスト需要が新型車効果等によって増加しており、平成28年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要は1,634,100トン(対前年度比102.6%)が見込まれる。

このような状況の中で、平成29年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを次のとおり策定した。

- (1) 鋳物・ダイカスト向け二次合金地金需要については、前年度後半に引き続き国内自動車生産の増加が見込めるため、プラス成長が見込まれる。
- (2) 圧延向け二次合金地金・二次地金需要については、飲料用アルミニウム缶需要の伸び率が鈍化し、ほぼ横ばいが見込まれる。
- (3) 鉄鋼・その他向け二次合金地金・二次地金需要については、国内粗鋼生産が前年度を上回ると予想されるため、増加が見込まれる。

以上の状況から平成29年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを、2年連続のプラス成長となる1,657,300トン(対前年度比101.4%)と策定した。

また、平成29年度鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通しは、235,700トン(対前年度比102.1%)が予想される。

平成 29 年 度

アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通し

平成 29 年 3 月 24 日

(一社)日本アルミニウム合金協会

(単位：トン)

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度実績		平成 29 年度	
		見 込 み	前年度比%	見 通 し	前年度比%
鑄 物	330,282	345,200	104.5	352,600	102.1
ダイカスト	942,930	972,200	103.1	986,500	101.5
圧 延	205,076	201,900	98.5	201,900	100.0
鉄鋼・その他	114,400	114,800	100.3	116,300	101.3
計	1,592,688	1,634,100	102.6	1,657,300	101.4

注 1) 輸入地金を含む。

注 2) 平成 14 年 1 月より、経済産業省統計の統廃合があり、鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

平成 29 年 度

鑄物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

(単位：トン)

項 目	平成 27 年度	平成 28 年度実績		平成 29 年度	
		見 込 み	前年度比%	見 通 し	前年度比%
鑄 物	163,465	164,400	100.6	168,200	102.3
ダイカスト	65,802	66,400	100.9	67,500	101.7
計	229,267	230,800	100.7	235,700	102.1

注 1) 輸入地金を含む。